クリスチャン新聞
THE CHRISTIAN
通巻第87号
昭和35年12月10日 第3種郵便物認可
（東京都新宿区信濃町6番地）
昭和42年11月5日発行（毎週日曜日発行） 発行 クリスチャン新聞 発売 いのちのことば社
11.5

クリスチャン新聞 1部25円（送料6円）
予約購読料（1部につき）
3ヶ月 13週 300円（〒共）
6ヶ月 26週 600円（〃）
1ヶ年 52週 1200円（〃）

いのちのことば
□聖書信仰の確立
□宣教のビジョン
□実際生活の指針

[illegible]
J・H・ジョエット

# 教会宣教に新時代

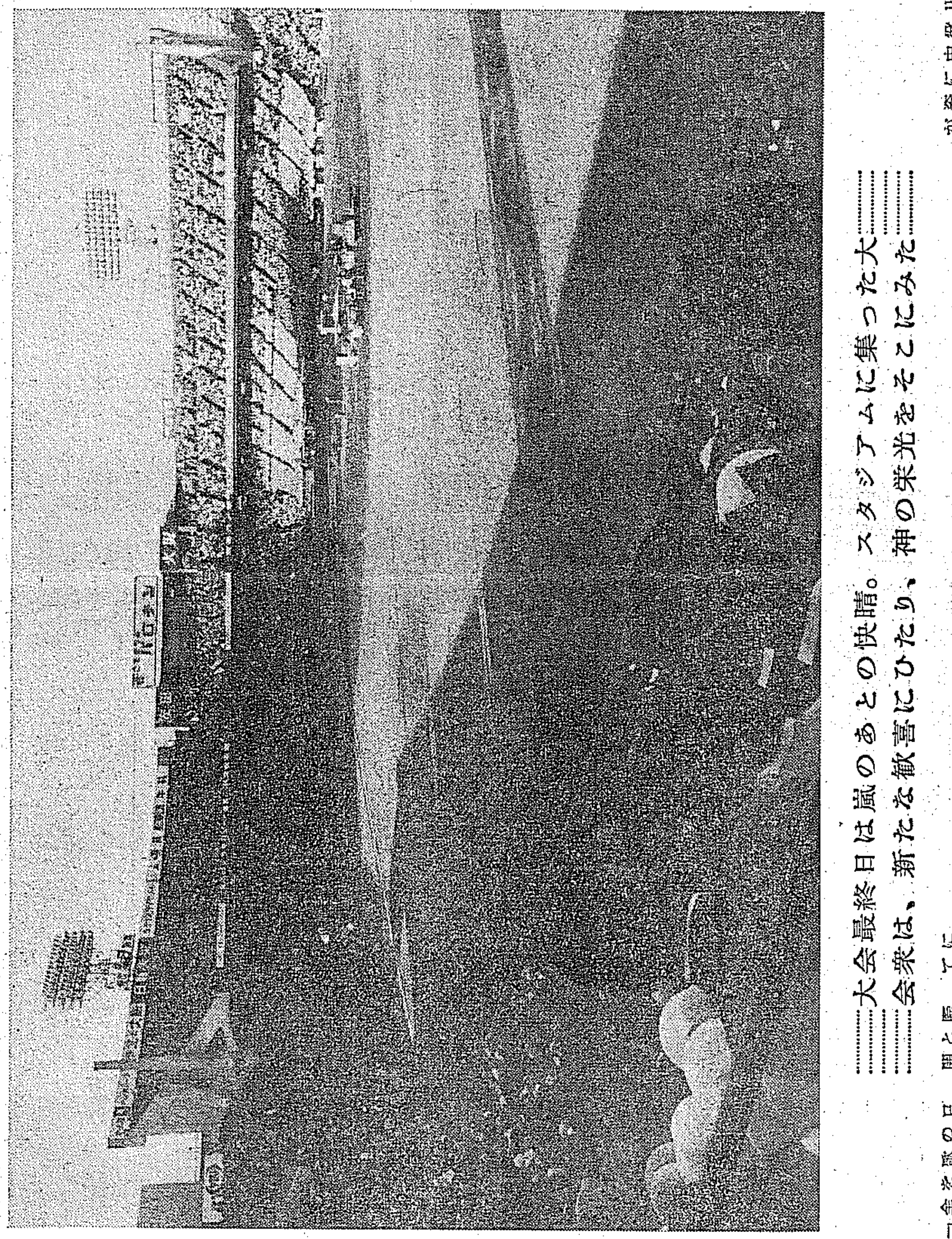
## グラハム国際大会

# 総決心者一万五千余

## グラハム国際大会 勝利のうちに終わる

## 宣教の戦いはこれから

宣教の新時代を象徴する巨数が生まれた。十月二十日より１０日間延出席人数二十万二千人余、うち決心者一万五千八百五十四人。それはある種の宗教的組織力の結果ではない一人の信仰、一人の愛の積み重ねによる共働の結晶であった。二十九日、最終日、後楽園球場での三万六千人の集会は、この栄光の勝利を決定的なものとした。



……大会最終日は嵐のあとの快晴。スタジアムに集った大……
……会衆は、新たな歓喜にひたり、神の栄光をそこにみた……

## 三万六千の大会衆

### 最終日、後楽園スタジアム

十月二十九日。日曜日。快晴。どこまでも深く、どこまでも広く、雲一つない秋の大空がひろがる。目にしみるような青さ、この美しい空のもとに、後楽園スタジアムも、すっぽりと包まれた。

開会三〇分前、三時には、すでに三万六千人の大会衆が球場の内外野スタンドをうずめつくした。

ひときわ高く拍手がわく中にビリー・グラハム博士を先頭に大会役員の各氏が入場、グラウンドの中央に設けられたプラットホームに上った。長身のグラハム博士の姿が目立つ。白いダスターコートが緑の芝生と美しく調和する。眼にはサングラス。薄い西日を避けている。

三時半、定刻。「ただ今から国際大会最後の集会を開会します」と、大会実行委員長[illegible]師の開会宣言で集会が始まった。

司会者は例によってクリフ・バロー夫師、通訳に土居一雄師。この十日間ダイナミックな指揮で聖歌隊と会衆を一つに結び、集会を楽しく明るいものにしてきた。会衆で大会のテーマソングを歌う「ほめよ、ほめよ、神の愛を」。[illegible]え、[illegible]え、主のみわざを…」。

人びとの讃美のどよめきは、球場いっぱいにこだまし、大空の天井に吸い込まれていった。つづいて大会実行委員の一人、本田弘慈師が、開会の祈りをささげた。

「主よ私たちの国を愛して、ビリー・グラハム博士を送って下さいました。この多くの兄弟姉妹を集めたまえ。きょうも博士を聖霊によって満たし用いて下さい。人びとを喜びと勝利の人生へと導き入れて下さい」。祈りは叫びであった。会衆はアーメンと力強く唱和した。[illegible]の独唱、[illegible]の独唱を迎えた。

日本語で歌った。喜びを豊かに爽やかに、語りかけるように、やさしく、時には主を呼び求めるように、激しく……。[illegible]心が自由だから、罪が赦されたから歌えるように、静かな感謝を[illegible]。そのとき、すでに主の御声は求める魂に触れていたのかもしれない。

ビリー・グラハム博士の力強いメッセージが始まった。通訳は羽鳥明。大きなゼスチュア、よく通る声、よく光る目。[illegible]

メッセージは「ノアの洪水と世界の終末」を中心に、会衆の一人一人に大胆に悔改めを迫った。

「今日の世界は大いなる破滅に向っています。ノアのときのような日が近づいているのです。ノアは一人で信じ一二〇年間も警告を語りつづけたのです。人びとはきょうのような天気のよい空を眺めて、洪水などないと言っていたのです……あなたは神に会う準備をしているでしょうか。キリストは再びこの地上に来られます。あなたはきょう、罪を悔い、神に立ち帰らねばならないのです。神はあなたを愛し、あなたを待っていて下さるのです。」

単純である。だが深く強く心にしみ通っていく。何がそうさせるのだろうか。会衆の眼は博士に注がれている。咳払いさえきこえない。しずかな一瞬一瞬の貴重さ。

やがてグラハム博士の招きがはじまった。すでにうすやみが迫り、スタジアムのカクテル光線がやわらかに場内を照らしはじめた。静かな音楽がかなでられた。だが会衆の心は熱く熱く燃え上がっていった。

## 広がる友情と共働の輪

「きょうあなたもキリストを主と受け入れる決心をしましょう。さあ、いま立ち上がって下さい」

[illegible]決心者の群が続々とプラットホームの前に集まってきた。[illegible]、涙でぬれた顔、[illegible]

カウンセラー・アドバイザーがグラウンド内を忙しくかけ回っている。いつのまにか薄やみの[illegible]。彼らのある者は礼拝堂にもどり、ある者は空しく帰って行く。だが、ここ後楽園ではいま神のもとに帰る[illegible]の神の子たちが生まれたのだ。喜びと勝利の人生をつかんだ人びとの[illegible]、カクテル光線のもとにあざやかに浮かび上がった。[illegible]カウンセラーとの一問一答がはじまった。

かくしてビリー・グラハム国際大会は終わった。だが、戦いはこれからだ。大会は全国的規模で行なわれた。ここに創造された友情と共働の精神は、新しい意味と力で日本全域に、アジアの諸国に拡大されていくことであろう。

## 今週の焦点

### 「グラハム・リズム」

人間の心臓にはリズムがある。これと同じように人間の生活にもリズムがある。人間はもっとも単純な、もっとも素朴なリズムをもつ。それはアダムの時代、造られた人間の生体の鼓動、心の鼓動から生まれた自然のリズムではなかったか。人間のエネルギーは心と生体のリズムによって展開してきた。

現代の若者のリズム。あの体にたたきつけるようなリズムがある。それを「あの自然のリズムに帰ろうとする若者だ。単調さがある」と評している人もいる。だが一方、若者のリズムは「この複雑化する社会機構、抑圧された人間性への反作用の現象だ」という人もいる。

日本人は、やや哀調をおびたウエットなリズム、いや、むしろリズムを無視したようなものが喜ばれてきた。若者のリズム、このごろの流れの中にも、人は単純な単調なリズムを求めて、時代と共に、さまざまな変化を経験してきた。

だが、ここに、時代や環境や年齢の変化に影響されない心のリズムというものがある。それは人間の全体のリズムに内部の生命から躍動を与えるものだ。人間の生活は単調なリズムをその内部の喜びによって楽しむものだ。これがなければ日常の生活はガタガタ狂ったリズムに終わってしまう。

人の心は真に豊かなリズム感を求めて躍動している。心の躍動に触れるものを求めている。キリストの福音は単純なリズムに躍動が深いものだ。福音が単純なリズムに生命（内容）をもって語られるとき、日本人の心に大きな共鳴が[illegible]のだ。福音のリズムは日本人が求めている、というよりも、人間が求めているものだ。心にきざみ込む福音のリズム、それは[illegible]ことだ。

グラハム大会を「ショーだ」ときめつける人に言いたい。あなたこそ「福音のリズム」を求めているのだと。

## 第八回バックストン記念聖会

第八回バックストン記念聖会は東京・大久保の[illegible]会堂で十一月二十四日（金）午後七時と二十五日（土）二時、二十六日（日）七時の三日間開催される。今回は「[illegible]・ウイルクス師[illegible]記念聖会」として講師は本田弘慈師、米田豊師、[illegible]師。

社員募集
・資格 18才〜40才の健康な男女・中卒以上
・職種 営業・倉庫・経理・（運転可能者を特に歓迎）
・給与 高給優遇・社保あり（宿舎完備、通勤可、[illegible]）
東京都新宿区西落合 一の七の四
こひつじ
[illegible]株式会社
電（951）0141代表

## 一七、三七人 トラクトで決心

### グラハム国際大会

ビリー・グラハム国際大会のトラクト配布部門を担当した全国宣教文書伝道協会（EDC）では、都内全家庭のシラミつぶし訪問のため、三九〇万のトラクトを用意したが、その決心者カードの総計が、十月二十八日現在[illegible]に達している。

## 基督聖協団 全国預言大会

基督聖協団は全国預言大会を十月二十日から三日間、同教団本部の千葉教会（千葉市稲毛町五ー三九の一、谷中広美牧師）で開き教役者四十五名、信徒百五十余名が参加した。

## グラハム博士二十九日夜帰国

十月二十九日（日）グラハム博士は後楽園スタジアムのメッセージ終了後、当夜九時羽田から日航機で帰国した。

## 聖鐘

最近、私は二つの顔を見た。その一つは先日亡くなった吉田茂さんの顔である。それはある新聞記者が写したジョーク（冗談）を飛ばす顔、マンガ家たちの漫画の素材となった顔のことではない。吉田茂さんのもうひとつの顔だ。吉田さんはワンマンと呼ばれ、非常に恐れられた。だが多くの人びとは彼が戦後日本の偉大な政治家であったと評価してやまない。ところで吉田さんは生前「死ぬ時には罪の赦しを受け、天国ドロボーになるのだ…」ともらしていたという。「カトリック信者になるのだ」とも、語っていたという。私はここに一個の人間の悲しい顔を見る。政界の荒海の舵をとりながら、もうひとつの顔がいつもそこにいたような気がする。八十九年の生涯だった。人は自分の人生をその終りの時までに神との対決があるのだと思う。それは個の裏面の問題で他人の立ち入ることのできないことだろう。たしかに吉田さんの周辺にはいつも[illegible]。それは死んだからも同じだった。だが、その中心にあってカメラのフラッシュを浴びていた吉田さんはけっしてワンマンではなかった。人は神の前にはワンマンではありえない。ただの人間にすぎない。それをワンマンといわれてきた吉田さんがいちばんよく知っていたのではないだろうか。

▼もうひとつの顔は、グラハム国際大会の行なわれた日本武道館での顔だ。さまざまな顔が登場した。グラハムの顔を見て『あれが伝道者の顔だ』といった人もいた。それは[illegible]顔だ。また、人びとはあの黒人シンガーの顔に、ある種の親しさを感じ、彼の顔に深く感動した。また、ある人は、クリフ・バロウズ氏のあのダイナミックな指揮をする司会に、日本人の及ばない外人らしい顔を見た。だが、誰も及ばない、もうひとつの顔があった。それはあのグラハム博士の招きに応じて講壇の前に進み出て来た決心者の顔ではなかったか。カウンセラーの説明に、真剣に聞き入る決意の顔、喜びの涙でくしゃくしゃになった婦人の顔、大きな決断をした人の顔は美しいと思った。彼らはグラハムの顔ではなく、いまそこで神の顔を見ている顔であった。あの決心者の群の中にもまれながら、それを感じた。武道館の顔は神の顔であった。目に見えないが、もっとも近くに見た顔であった。人は人の顔につまずく。肉の眼で見るときに、きまってつまずく。だが霊の眼が信仰によって開かれたとき神の顔を見て喜ぶのだ。

## 来年はシンガポールで

### 世界伝道会議開催国決定

日本武道館で開かれているビリー・グラハム国際大会の「教職者大会」席上、グラハム伝道団チーム・ディレクター、[illegible]氏は、十月二十六日（木）、「一九六八年世界伝道会議」を一二〇〇名の各国代表を招き、シンガポールの[illegible]ホールで開くことに決定したと語った。

世界伝道会議は、昨年秋、西ベルリンで開かれ、たいへん好評を得ている。来年の会議は、各教会間の交わり、励まし、宣教の戦略の検討等を意図して開かれるもので、いちおうの主催は、グラハム伝道団となるが、運営は、日本はじめ、アジア各国の教会にゆだねられることになっている。

### 第一回世界大会

#### MFM・東京で

東洋宣教会傘下の信徒団体メン・フォー・ミッションズ（MFM）の第一回世界大会が、既報のとおり、十一月五日（日）夜から八日の夜まで、東京・九段会館ホールで開催される。このために、世界各国から数百名の参加者が予定されているが、台湾、韓国からその一部の人たちのビザがおりず、開催日に間に合わない人の出ることも予想される。

なお、このMFMは東洋宣教会系の団体ではあるが、広く超教派の信徒たちの大会参加を呼びかけている。

## 中日本連合 宣教の集い

名古屋

【名古屋】この夏、愛知、三重、岐阜三県下の諸教会で新しく宣教運動として成立した「中日本連合宣教の集い」では既報のとおりこの集会を「宣教の[illegible]を語る」という主題で、来る十一月二十三日（木）から二十五日（土）の三日間、名古屋市中区栄町千代田ビル・ホール[illegible]で開催することにきまった。

このため、東京地区の「東日本連合宣教の集い」当局に、講師派遣の要請をしたところ、羽鳥明氏（太平洋放送協会理事長）、井出定治氏（東京・西荻教会牧師）、リー・スナー氏（[illegible]）、そのほかに、[illegible]下三郎氏、[illegible]一夫氏が同行することにきまった。

## アジアで最初の大会へ

### 世界バプテスト連合第十二回世界大会70年東京で開催

#### グラハム博士も来日か

世界バプテスト連合第十二回世界大会（会長トーベット博士リベリア副大統領）が一九七〇年七月十三日から八日間、東京で開かれることがこの程内定したが、この大会は、いろいろな点から画期的な大会になることが予想される。

こんどの大会の責任者であり、世界バプテスト連合副総裁でもある松村秀一氏（日本バプテスト教会牧師）の語るところによると、昭和四十五年七月十三日から八日間、毎日日本武道館で集会をもつことになっているという。海外一三四カ国三千万のバプテスト教会会員の中より六千人の代表者が参加し、日本国内からは三千人の代表が出席する。最後の夜は、都内のスタジアムでビリー・グラハム博士による大伝道会を開き一〇万から二〇万人の会衆の参加を予定している。だが問題はその会場で七月ということ、どこのスタジアムもアキがないということで、この折衝に待たねばならない。

この大会の大きな特色は、異教国のアジアで、初めて開かれる大会であるということ、キリスト教伝道の最前線での大会ということで、その意義も大きい。

大会に出席する期待がかかっている著名人の中には、ビリー・グラハム博士、マーチン・ルーサー・キング氏、それに、リベリヤ副大統領トーベット博士等がいる。

CHIKYU CARD
バースデーカード
グリーティングカード
クリスマスカード
年賀カード
尚美堂

世の光
毎朝あなたのラジオから聞けます
ニッポン放送 6.05（月〜土）
北海道放送 6.15（〃）
岩手放送 6.25（〃）
秋田放送 6.45（〃）
新潟放送 6.20（〃）
信越放送 6.25（日9.05）
東海ラジオ 6.00（月〜土 6.35日）
ラジオ大阪 6.20
和歌山放送 6.05（月〜土）
山陽放送 6.10（〃）
山口放送 6.20（〃）
南日本放送 6.10（〃）
太平洋放送協会
東京中央郵便局私書函1000番

新刊 ホーリネス・ブックス第二集
贖罪の性質と範囲 ラルフ・アール 定価180円
新刊 ホーリネス・ブックス第一集
聖潔と人間的要素 [illegible]
W・パーカイザー[illegible]
キリスト教信仰の探求 [illegible]
発行者 福音文書刊行会
発売元 いのちのことば社
東京・新宿・信濃町6
振替・東京 79904

《新刊》サープライズ・ブック I
切り抜きカラー絵本
イエスさまのおたん生
C L C クリスチャン文書伝道団
東京都千代田区神田駿河台2-1

だれでも読んでる
わかりやすい入門書
信仰入門 J・スタット著
キリスト教の核心 C・S・ルイス著
みくに書店
東京都千代田区神田駿河台2-1

11・12月号発売中
家庭礼拝の友
アパ・ルーム
英文・アパ・ルーム
アパ・ルーム聖画集
アパ・ルーム事務所

最新刊
みんなで折紙を 下巻
年中行事のお話と遊び
新版出来ました
《近刊》人形芝居の生かしかた
白百合学芸社

日本基督教団[illegible]
母と子の聖書
旧約（上・下巻） 新約（全一巻）
東京都千代田区神田神保町1〜45
（株）小峯書店
電話（294）6915
振替東京 74378

感動をよぶ
最新の註解書
バークレー マタイ福音書（上）
東京都新宿区西大久保
ヨルダン社

信仰詩集
葡萄園
高瀬恒徳著
神への信頼と感謝をこめてうたう
牧会生活五十年
B6判上製函入600円〒100
いのちのことば社
東京都新宿区信濃町6
振替・東京 79904